

市町村民所得(総額)(平成20年度～平成22年度)

(平成25年3月25日公表)

項目	実 数			対前年度増加率		増加寄与度
	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成21年度	平成22年度	
1 雇用者報酬	112,689,170	110,883,825	108,621,112	▲ 1.6	▲ 2.0	▲ 1.4
(1) 賃金・俸給	96,128,682	94,196,330	91,909,158	▲ 2.0	▲ 2.4	▲ 1.4
(2) 雇主の社会負担	16,560,488	16,687,495	16,711,954	0.8	0.1	0.0
a 雇主の現実社会負担	12,679,401	12,543,272	13,120,633	▲ 1.1	4.6	0.4
b 雇主の帰属社会負担	3,881,087	4,144,223	3,591,321	6.8	▲ 13.3	▲ 0.3
2 財産所得(非企業部門)	11,946,512	10,447,101	9,887,684	▲ 12.6	▲ 5.4	▲ 0.3
a 受取	16,931,396	14,768,981	14,161,827	▲ 12.8	▲ 4.1	▲ 0.4
b 支払	4,984,884	4,321,880	4,274,143	▲ 13.3	▲ 1.1	▲ 0.0
(1) 一般政府	▲ 384,663	▲ 438,460	▲ 557,655	▲ 14.0	▲ 27.1	▲ 0.1
a 受取	2,197,209	1,905,570	1,744,537	▲ 13.3	▲ 8.5	▲ 0.1
b 支払	2,581,872	2,344,030	2,302,192	▲ 9.2	▲ 1.8	▲ 0.0
(2) 家計	12,084,418	10,667,578	10,219,077	▲ 11.7	▲ 4.2	▲ 0.3
① 利子	5,415,445	4,125,669	3,457,695	▲ 23.8	▲ 16.2	▲ 0.4
a 受取	7,744,268	6,062,118	5,395,994	▲ 21.7	▲ 11.0	▲ 0.4
b 支払	2,328,823	1,936,449	1,938,299	▲ 16.8	0.1	0.0
② 配当(受取)	694,193	789,140	788,816	13.7	▲ 0.0	▲ 0.0
③ 保険契約者に帰属する財産所得	5,124,741	5,075,236	4,926,022	▲ 1.0	▲ 2.9	▲ 0.1
④ 賃貸料(受取)	850,039	677,533	1,046,544	▲ 20.3	54.5	0.2
(3) 対家計民間非営利団体	246,757	217,983	226,262	▲ 11.7	3.8	0.0
a 受取	320,946	259,384	259,914	▲ 19.2	0.2	0.0
b 支払	74,189	41,401	33,652	▲ 44.2	▲ 18.7	▲ 0.0
3 企業所得(法人企業の分配所得受払後)	40,284,624	40,357,685	43,279,504	0.2	7.2	1.8
(1) 民間法人企業	8,922,965	9,342,477	11,013,268	4.7	17.9	1.0
a 非金融法人企業	8,819,358	8,820,760	10,309,383	0.0	16.9	0.9
b 金融機関	103,607	521,717	703,885	403.6	34.9	0.1
(2) 公的企業	1,145,582	1,828,153	1,619,424	59.6	▲ 11.4	▲ 0.1
a 非金融法人企業	377,500	635,051	641,602	68.2	1.0	0.0
b 金融機関	768,082	1,193,102	977,822	55.3	▲ 18.0	▲ 0.1
(3) 個人企業	30,216,077	29,187,055	30,646,812	▲ 3.4	5.0	0.9
a 農林水産業	3,631,622	2,385,225	2,658,300	▲ 34.3	11.4	0.2
b その他の産業(非農林水・非金融)	5,627,831	5,345,379	6,121,345	▲ 5.0	14.5	0.5
c 持ち家	20,956,624	21,456,451	21,867,167	2.4	1.9	0.3
市町村民所得(1+2+3)	164,920,306	161,688,611	161,788,300	▲ 2.0	0.1	0.1
一人当たり市町村民所得	1,792	1,786	1,817	▲ 0.4	1.7	

(単位:千円、%)

(解説)

平成22年度所得推計における市町村民所得の天草市の現状は、全体で見れば0.1の増加となっている。雇用者報酬で見れば、賃金・俸給で2.4の減少となっており、雇主の社会負担で0.1の増加となっている。財産所得においては、5.4の減少となっており、特に一般政府の減少が大きくなっている。企業所得においては、7.2の増加となっており、民間法人企業・個人企業は増加しているが、公的企業の金融機関は減少している状況である。一人当たりの市町村民所得においては、1.7の増加となっており、

※一人当たりの市町村民所得の人口については、平成20・21年は国勢調査値による補間補正值で表し、平成22年は平成22年国勢調査の人口で表してあります。